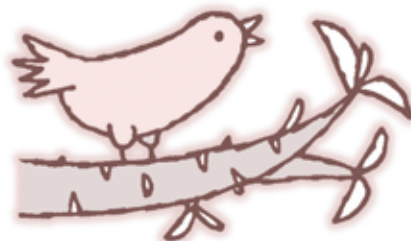


おかげさまで創立40周年



組合員や地域の多くの皆さまと協同して、「笑顔広がる豊かなくらし」の実現へ

大阪よどがわ市民生協は、本年2月に創立40周年を迎えました。40周年を迎えることができましたのは、「よりよきくらしと平和のために」(1977年創立宣言)という設立の理念を掲げ、事業と活動をすすめる消費者の協同組織として育ててきた創立以来の多くの組合員・役職員の尽力、そして90年代の経営危機に際して再建にあたってきた役職員の尽力、経営再建へご支援、ご協力をいただいたおおさかパルコープさまをはじめとした近隣生協の皆さまや、よりよい商品を提供していただいた生産者・お取引先の皆さまのお力添えの賜物です。多くの皆さまへ心から感謝申し上げます。

生協創立から40年を経た今の日本は、急激に進む少子高齢化、格差や貧困の拡大、平和の危機、そして地域コミュニティが希薄になりかねない社会に直面しています。これからの大阪よどがわ市民生協は組合員の声を大切に、地域の皆さんと一緒に、暮らしに貢献できる事業や活動を更

に進めてまいります。

昨年ユネスコは協同組合を無形文化遺産に登録しました。協同組合が「共通の利益と価値を通じてコミュニティづくりを行うことができる組織であり、さまざまな社会的な問題への創意工夫あふれる解決策を編み出している」として認められたものです。世界100カ国以上で10億人の組合員が協同組合に参加しています。

大阪よどがわ市民生協も、この地域の生活協同組合として、組合員や地域の多くの皆さまと協同して、キャッチフレーズである「笑顔広がる豊かなくらし」の実現をめざしてまいります。



理事長 貫 恒夫



組合員10万人超え、組合員が主人公の生協へ

2016年7月に組合員が10万人を超え、2017年度からは総代も410人から510人になりました。さらに組合員の「声」を聴き、組合員のくらしの願いを実現するために、組合員とともに歩んでいきます。



生協は組合員みんなで運営しています

生協は、消費者1人ひとりがお金(出資金)を出し合っ

て組合員になり、協同で運営・利用する組織です。「こんな商品がほしい」「こんなサービスがあると便利」といった、くらしの中から生まれてくるさまざまな「願い」を、組合員が力を合わせて「運営」することで実現しています。しかし、組合員約10万人全

組合員の声を もっと!もっと! 聴かせてください!



総代は6月の総代会と、4月・10月・2月にある総代懇談会に参加して、組合員の「声」を届けます

2016年度の総代懇談会などで集めた「声(=組合員の願い)」から、2017年度によどがわ生協をどのようにしていくのか計画を作り、6月7日(水)新大阪・メルパルクホールにて行う第40回通常総代会にて、2017年度の方針を議決します。4月の春の総代懇談会では、6月の通常総代会に向けて事前に内容を説明します。10月の秋の総代懇談会では、通常総代会で決めた方針

の進み具合の報告。2月の年度末総代懇談会にて1年のまとめの報告があり、それに対して来期について、総代から「声」を集めます。

総代のみなさんは、ぜひ通常総代会や総代懇談会にご出席ください。



組合員のみなさん!「あなたの声を聴かせてくださいカード」で声をお寄せください!

総代だけではなく、ぜひ日ごろから組合員の声を聴かせてください。毎月1週目の配送時にお届けしています。お届けした商品のこと、取り寄せたい商品、「もっとこうなったら…」の商品改善点、配送についてや注文方法など生協のしくみについて、生協に望むこと・感じていることを伝えてください。

どのような声が届き、実現のためどのように取り組んでいるのかは、この機関紙よどがわに毎月報告掲載しています(※4面参照)。



<http://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索

今月の
生協さん
第3支所



共済サポーター(豊中市担当) 春は新生活の季節。組合員さんのご畑中 学(はたなか まなぶ) 家族の保障を笑顔でご提案します。



よどがわ市民生協は環境マネジメントシステムに基づいたとくみを行なっています。